

「新しい商業築きたい」

名鉄岐阜駅周辺の再開発は神田町街区と、岐阜口方面がある駅北側の「長住町街区」、駅北東で現在は駐車場になっている「清住町街区」の3ブロックに分けて計画されている。高崎社長は、マイカーを規制する「トランジットモール」など、岐阜市が進める歩行者が過ごしやすい空間作りと連携するとして「長期的にエリア全体が良くなる開発を進めたい」と意欲を語った。

講演会は中小企業支援のTACHTグループ（岐阜市）が企画し、グループの

本巣出身 高崎社長が講演

すぐの「ツインはない」と断つた上で、「（観光誘客を見据えた）グレードの高い宿泊施設の可能性は十分あるが、観光の活性化と一緒にホテルをつくる」ことが求められる」と指摘した。

「岐阜は、名古屋周辺で最も潜在的な魅力がある町の一つ。独自の魅力の磨き上げが必要」とも述べ、金華山からのお夜景や鶴鳴などを例に「強みを伸ばす」ことが早道ではないか」と強調した。

TACTグループ顧客企業の経営者ら270人が参 加した。

岐阜市長の高橋裕樹社長は「本巣市出身」が28日、岐阜駅周辺の再開発の展望などについて講演した。優先順位の高いエリートとして、駅と岐阜バスのターミナルを含む「神田町街区」を挙げ、「長良橋通りに面し、にぎわいの中心になる」と述べた。(川添智史)

高井法博最高顧問とも対談した。7月末の岐阜高島屋閉店を受け、百貨店機能を持つ施設を設ける考えがないかを聞かれた高崎社長は、「フルラインの百貨店は厳しい」と返答。その上で「エリア全体の価値を向上させるためには、路面に商業がない開発は絶対ない。百貨店とは違つ新しい商業を開きたい」と話した。



名鉄岐阜駅周辺の再開発展望

名鉄岐阜駅周辺の再開発などについて語る高崎社長＝岐阜市の岐阜グランドホテルで



発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

2024年 8月30日(金)
(令和6年)